

平成24年4月25日
国土交通省

平成23年度 自動車アセスメント・チャイルドシートアセスメント結果の公表！

国土交通省では、自動車等の安全性能評価を公表し、自動車ユーザーが安全性の高い自動車やチャイルドシートを選択しやすい環境を整備するとともに、メーカーに対しより安全な製品の開発を促すことによって、安全な自動車等の普及促進を図る自動車アセスメント事業を実施しております。

これまで乗員保護に焦点をあてた衝突安全性能の評価を実施してきましたが、死亡事故のなかで歩行中の死者数が最も多い事故実態であることを踏まえ、既存の評価方法の見直しを行い、平成23年度より乗員保護と歩行者保護を含めた自動車の総合的な安全性能評価を行う「新・安全性能総合評価」を導入しました。



試験の様子

○自動車アセスメント

(対象車種)

電気自動車（1車種）、軽自動車（2車種）、乗用車（10車種）、1BOX（1車種）の計14車種について試験を実施

(平成23年度に新たに導入した試験)

- ・近年、電気自動車及び電気式ハイブリッド自動車が急速に普及していることを踏まえ、衝突事故後に乗員が高電圧により感電しないことを評価するための感電保護性能試験を導入
- ・歩行者の事故が多い事故実態を踏まえ、平成15年から実施している歩行者頭部保護性能試験に加え、自動車と歩行者が衝突した際の歩行者脚部に対する保護性能試験を導入

(試験結果の概要)

- ・衝突試験後の感電保護性能評価試験について、該当する3車種（日産・リーフ、レクサス・CT200h、トヨタ・プリウスα）は全ての要件に適合
- ・歩行者脚部保護性能試験については、13車種が最高のレベル4の評価を獲得
- ・「新・安全性能総合評価」については、3車種が最高の5☆を獲得

○チャイルドシートアセスメント

(対象機種)

- ・乳児・幼児兼用チャイルドシート（5製品）、幼児専用チャイルドシート（1製品）について試験を実施

・平成23年度においては、ISOFIX対応チャイルドシートの評価を初めて実施
(試験結果の概要)

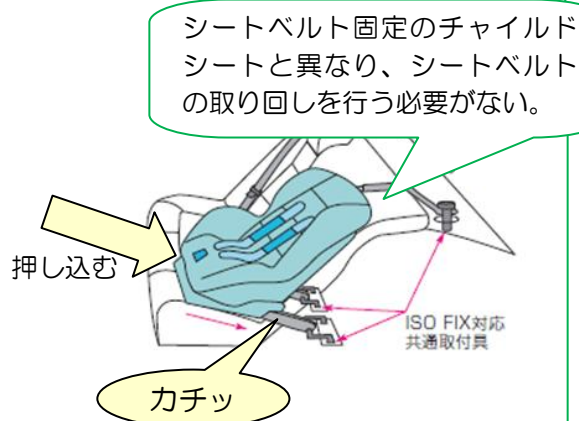
ISOFIX対応チャイルドシートは、前面衝突試験と使用性評価試験において、平成23年度に試験を実施した他のチャイルドシートと比較して高い評価を獲得

ISOFIX対応チャイルドシートとは

自動車に取り付けられたISOバー（取付け金具）とチャイルドシートに取り付けられているコネクタを接続して固定するタイプ。

☆特徴

- (1) シートベルト固定のチャイルドシートと比べて、取付けが簡単
- (2) 誰が付けても“ばらつき”がなく装着可能



評価結果の詳細については、(独)自動車事故対策機構内のウェブサイト
(<http://www.nasva.go.jp/mamoru/index.html>) に掲載するとともに、(独)自動車事故対策機構の支所等において、パンフレットを配付しますので、下記までお問い合わせください。

(問い合わせ先)

国土交通省 自動車局 技術政策課

永井、高木、赤井

電話 03-5253-8111 (内線: 42254)

03-5253-8592 (直通)

独立行政法人 自動車事故対策機構 企画部

大野、渡辺、上坂

電話 03-5276-4455 (直通)